

◆◆◆◆◆
佐渡山 明 議員



◆◆◆◆◆
渡久地政信名誉村民に
対して顕彰のあり方について

質 28年に渡久地政信生誕百年記念事業実行委員会を設置し、顕彰碑建立のため15の行政区、村民や企業などにも寄附金をお願いしていたが現在の状況は。

答 総務課長 新里勝弘
4百5万2千円余りの募金が集まっている。今年度は村制110周年式典を11月に計画しており、その際には顕彰碑の建立を検討したい。

◆◆◆◆◆
恩納村の商工振興について

質 村発注工事の特記仕様書の中で請負者は下請契約の相手方などにに対し地元優先をうたっているが、仕様書の文面を伺う。

答 建設課長 崎山 敦
仕様書には、下請業者の村内企業優先活用について明記してあります。内容は、請負業者は下請契約の相手方を村内企業から選定するよう務めなければならないとしている。

質 村内調達、発注者として効果の確認を行っているのか。

答 建設課長 崎山 敦
優先使用の状況は、アンケート調査で特殊作業等以外は村内の企業を使用していることが確認できた。聞き取り調査でも商店、運送会社、リース会社、燃料会社、塗装工事等で村内の企業を使用している確認ができた。

◆◆◆◆◆
緊急課題である定住化
促進に必要な住宅地の
確保と良好な集落地環
境の形成について

質 若年層の定住促進に対するま

とまった住宅地の確保は年を追うごとに緊急課題となってきたいて、良好な集落環境を守ることにについては一刻の猶予もできない状況ではないかと感じている。27年の行政懇談会でも住宅地の確保は村民が望む一番の要請だった。現在村においては住まいを求める土地が不足している中、空き家の活用を行うということについて、どのように調査を行い、どういう手順で活用していくのか。

答 企画課長 山城雅人

村内の空き家を把握して、空き家の所有者の方と貸していただける契約をとり、その住宅を改築する補助要綱などをつくって使っていければと考えている。

質 民有地袋地における区画整理事業の制度構築に向けた調査について伺います。

答 企画課長 山城雅人

村を主体とした宅地整備事業はできない。考えているのは、地権者がこの土地を売りたいのか、貸したいのか、自分で使いたいのかアンケートをとって方向性を示していければと考えている。



恩納校に隣接した袋地

質 住宅地に適した村有地活用のお考えは。

答 企画課長 山城雅人

定住化としては、活用できる村有地があれば活用したい。基本的には民有地、土地開発公社などを通して、村で確保し事業計画をしていければと考えている。

質 村民の合意形成の上で、村環境保全条例の見直しを行うこともひとつの方法ではないか。

答 企画課長 山城雅人

環境保全条例という話の中で、確かに定住化の住宅を確保していくのが厳しくなっている実情はある。都市計画と建築基準法の用途に準じた内容を環境保全条例に取り入れながら、条例の改正は可能かと考える。しかし、そういった規制を村民が望むのか、専門の有識者にも意見を伺っていききたい。

◆◆◆◆◆
吉山盛次郎 議員



◆◆◆◆◆
屋嘉田林道の整備について

質 林道がO-I-S-Tとつながっている。起伏に富んだ散策するには良い場所であり、海や恩納岳が展望できる場所がございます。観光資源として軍用地ではない屋嘉田林道をうまく活用できないか。

答 企画課長 山城雅人

林道自体が計画の構想にはありません。管轄する教育委員会、農林水産課、企画課を含めて議論が必要と考えている。

◆◆◆◆◆
公の施設の維持・管理
について

質 上下水道の老朽化に伴う改修整備について、その経費、期間、それから現在始めているのか。

答 上下水道課長 金城徳夫
平成30年度から平成44年度まで改築費約72億7千万円の事業費になります。

質 その他の施設について修復に至るまでの間、良好に維持されているのか。

答 総務課長 新里勝弘
二〇〇〇年度以降に建てられた施設が多い、二〇三〇年度に大規模改修が集中する。今のところ大規模な修繕で空調はやってます。今後想定外のものも出てくる。中長期財政計画にのっとった形で修繕計画は進めていきたい。

質 軍用地料の値上がり分を修繕とか維持管理に充てるという話がございます。その後どうなっているのか。

最後まで理解に至らなかった。リセットということで、値上がり分の積立に関しては、今のところ実施する予定はございません。

答 村長 長浜善巳

水道の改修工事に多くの予算がかかってまいります。検討しているかなければいけないと思っております。

◆◆◆◆◆
介護事業について

質 団塊の世代が75歳以上になる二〇二五年問題で、介護4と5のセーフティネットをどうするのか。

答 福祉健康課長 長浜保治

村も高齢者数は年々増加し、平成29年に高齢者数は2,418名、高齢化率22.1%となっております。独居高齢者は737人、要介護4、5が合計150名。特別養護老人ホームに入所できない高齢者、自宅医療、介護を必要とする高齢者が増加しますので、地域の中でいかにして支えていくか、また健康な高齢者をどのように増やしていくか大きな課題と考えます。課題解決するため、地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実

◆◆◆◆◆
民泊条例制定について

質 民泊が住宅地にはつくりえないような対策をしてほしい。騒音やごみの増加があり、治安の悪化、教育環境劣化の状況は深刻な事態。規制に係る条例で何か知恵を出してほしい。

答 商工観光課長 宮平 寛

村民の安心、安全または平穏な生活を守る条例とかで考えていけないかと思っている。昨年度、恩納村地域づくり推進委員会も立ち上げられており、この問題に対しては今後協議を重ねてまいりたい。